

前枚方市議会議員 改革系無所属

駅前配布版 第96号(通算125号)  
平成27年12月発行

# かじや知宏 市政報告



〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈年齢〉46歳 〈出身地〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り 〈血液型〉O型  
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57

電話 090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ  
<http://www.t-kajiya.com>

## 総合文化施設整備 建設需要の拡大や資材の高騰などで膨らみ続ける整備費 財政負担を抑制するため、コンパクトな設計に見直しを



現在、枚方市では、建設から40年以上が経過し、老朽化している市民会館大ホールの代替施設として、新町エリアに総合文化施設の整備を進めています。しかし、建設需要の拡大や資材価格の上昇等により、当初の計画検討時から比較して施設整備費が大きく膨らむことが判明しました。平成26年6月の整備計画策定時では108億円と見込まれていた整備費が、現時点で153億円にも膨らむとのことです。整備計画策定以前に議会に示されていた数字では、施設整備費で約88億円(用地取得費は約73億円)とのことでしたので、約2倍に膨れ上がったことになります。

全国の自治体では類似施設の入札において、入札額が予定価格を上回り、落札されない「入札不調」が続いています。私は市議会議員だった今年3月、本会議での当初予算質疑において、他市で入札不調が続いている状況から、本市でもこのままでは整備コストの増大が懸念されるため、財政負担を抑えるためにコンパクトな設計にしてはどうかとの質問をしました。その際、整備コストが大きく膨らむことについて、市からは明確な答弁はありませんでした。今回、市は小ホールの席数を減らすなど、整備計画に示している施設機能を「大きく変えない範囲」で整備内容を一部見直すことで、費用を約130億円とする案を示しています。しかし、これでも計画策定時の108億円より20億円以上の財政負担が必要となります。伏見市長が公約に掲げていた教育や子育て支援の充実には多額の経費が必要なことから、私は総合文化施設の整備についてはできる限りコストを抑制していくべきとの考えです。当初から状況が大きく変化した今、小手先だけでの見直しでなく、せめて計画策定時の108億円の範囲内で収まる設計内容への見直しや、実施手法の再検討など、大胆な方針転換が必要であると考えます。

税金の流れの透明化

ムダの排除

既得権の見直し

## 市民の手に税金と政治を取り戻します!!

活動の詳細はホームページをご覧ください

かじや知宏

で 検索



ブログのQRコード



tomohiro.kajiya



@kajiya\_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開いています。

駅前報告を行っています

～570回継続中～

一人でも多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという想いから、午前6時20分頃～8時30分頃に駅前「市政報告」の配布を行っています。